



星と稲

伊米ヶ崎小学校 学校だより

<http://uonuma-school.com/school.com/ed03>

NO 4

発行日 令和元年6月28日

発行者 校長 名塚 高明

【星と稲の訓】 朝に星を戴きて出で 勢め励みて 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展と期さん

伊米ヶ崎スタンダード

「伊米ヶ崎スタンダード」

保護者の方にはあまり馴染みでない言葉だと思います。子どもたちにも強いて話してはいないので、伊米ヶ崎小内でも一般的な言葉ではありません。教職員間で共有し、使用する言葉であり、子どもたちに指導する際、学習や生活の基盤となる子どもたちの様子、状態のことです。この言葉は悪い面には使用しないので、子どもたちの良さがスタンダード「標準的な様」として表されています。具体的な例を挙げます。

- 5分前行動できる。
- 自分の役割・仕事等がきちんとできる。
 - ・黙動清掃、・給食で口を閉じて食べるモグモグタイム（10分間）
- 話を静かに聞くことができ、返事で反応したりすることができる。
- 挨拶や丁寧な言葉遣いができる。
- 苦手なことにも諦めず、一生懸命取り組む
- 全員がしっかり声をだして歌うことができる
- 学年男女関係なく行動できる
- 発表では、原稿なしで話すことができる 等々



上記のものを見て、皆さんはどう感じられますか。「当たり前なこと」と感じる方も多いのではないでしょうか。その通りです。ですが、当たり前なことでもなかなかできないのは世の常です。それらができている伊米小の子どもたちを、職員は誇りに感じ、この良さを続けていかなければならないという使命を感じています。そういった職員の心構えが「伊米ヶ崎スタンダード」として表されています。それら勤勉さや前向きな取組は、校訓「星と稲の訓」に通底しています。

さて、6年生の修学旅行、5年生の尾瀬学習をはじめとして、各学年が校外学習や講師をお呼びして学習をする機会がたくさんありました。子どもたちは旅先や学習先で明るくあいさつを行い、しっかり話を聞き、感謝を伝える姿がありました。伊米ヶ崎スタンダードが、子どもたちの力となって生きていました。今後も伊米ヶ崎スタンダードを受け継ぎ、子どもたちが自信をもって生きていける力の育成を図っていききたいと思います。

6/11.12 6年生 佐渡修学旅行



砂金取り、金山、たらい舟、豪華な夕食、宿での楽しいひと時…。伊米ヶ崎とは違う自然の中、6年生は子どもらしく楽しく、元気に活動し、仲間との絆を深めていました。佐渡での体験は、小学校での最高の思い出になったことでしょう。

6/25.26 5年生 尾瀬学習



梅雨の合間の晴天の中、尾瀬学習に行ってきました。尾瀬国立公園は魚沼市の一部であり、魚沼市の全ての5年生の子どもたちが学習に訪れる地です。子どもたちは、2日間に渡って、尾瀬の動植物等の自然や環境、歴史を学ぶことができました。重い荷物を背負っての行程は子どもたちには厳しいものでしたが、最後まで弱音を吐かず、がんばって歩き通しました。

ご協力ありがとうございました



6/16 空き瓶・空き缶回収

明け方から降雨が激しくなり心配しましたが、予定通り空き瓶・空き缶回収を行いました。それぞれの地域で、親子で回収作業をしていただきました。ありがとうございました。嗜好の変化等もあり、回収量は、減少傾向だそうですが、収益につきましては、PTA 活動や子どもたちのために有効に活用させていただきます。

6/17～6/21 あいさつ運動

保護者の皆さんから、登下校の時間に合わせ、集合場所や交差点等、地域の中で子どもたちにあいさつのお声がけをしていただきました。皆さんのおかげで、子どもたちのあいさつは一層よくなりました。あいさつ運動等、保護者、地域の皆さんの子どもたちを見守る活動は、地域での事件、事故の抑止にもつながります。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

